

事業番号	10 04 10	事業改善シート（28年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	県民の森管理事業				担当課	部局	林務部		
総合5か年計画	プロジェクト					課・局・室	森林づくり推進課		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり				E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp		
		4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進				実施期間	S50 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針								
	施策展開								

1 事業の概要

目指す姿	県民への自然や森林に関する知識を普及啓発する場を提供し、県民と森林とのふれあい及び森林の多面的機能等に対する理解の促進を図る。															
現状（予算編成時）	<input type="checkbox"/> H26入園者数 美ヶ原県民の森 3,800人 大平峠県民の森 12,668人（うちキャンプ場 900人） <input type="checkbox"/> H27入園者数目標 美ヶ原県民の森 3,800人 大平峠県民の森 13,000人															
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 美ヶ原県民の森、大平峠県民の森ともに県が造成した施設である。														
	県民との協働による実施： 実施中															
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）															
	H28利用者目標（H27利用見込者数に対し、3%程度の増） 美ヶ原県民の森 … 3,900人 大平峠県民の森 … 13,000人															
	② 事業内容 （単位：千円）															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 （当初）	H28 （決算）	H29 （当初）								
		県民の森管理事業	直接	県民の森の維持管理及び普及啓発活動 ・大平峠県民の森（飯田市・南木曾町：248ha） ・美ヶ原県民の森（松本市：121ha）		4,025	3,880	2,893								
			合計		4,025	3,880	2,893									
事業コスト	区分（単位：千円）		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	3,057	4,025	2,893				目標	成果	達成状況					
		補正予算							入場者数	16,368人	17,408人		16,900人	15,149人	未達成	-
		合計(A)	3,057	4,025	2,893											
	Aの財源	一般財源	3,033	3,602	2,873											
		県債														
		国庫支出金														
		その他	24	423	20											
	決算額(B)		2,916	3,880												
概算人件費	職員数(人)	0.2	0.2	0.2												
	概算人件費(C)	1,655	1,583	1,583												
	概算事業費(B(A)+C)	4,571	5,463	4,476												

目標に対する成果の状況	美ヶ原県民の森では、自然観察会やお花畑再生事業等のイベントを開催し、大平峠県民の森では、利用者の意見も踏まえ利用者の多いキャンプ場までの車の乗り入れ道の補修やキャンプ場につながる木橋の修繕、地元財産区主催による「紅葉まつり」を開催するなど、県民の森の入場者数の増に努めたが、目標には届かなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 美ヶ原県民の森は、引き続き隣接する市営キャンプ場・松本市との連携を進める。 大平峠県民の森は、利用者アンケートに基づき、車乗り入れ道の改修や木橋の修繕を進めてきた。今後も必要な修繕を進めつつ、利用者の声を反映させながら取組みを進める。
--------------------	---